

郷土愛を育み、創造性を発揮させながら、自ら未来を切り拓く子の育成

～できなかったことをできるようにする～

利尻富士町 複式教育研究部会

1. 研究主題・活動方針・体制等

<研究主題>

「単元および本時の目標達成に繋がるアウトプットの設定」

～主体性を引き出す学習指導の充実～

<活動の方針>

- (1) 複式教育の研究・研修活動を積極的に推進する。
 - ①わかる授業をめざし、主体的な学びを追求する授業改革を図る。
 - ②子どもの変容をとらえ、個別最適な学びによる学力の保障を図る。
- (2) 小中一貫教育を生かした教育活動を推進する。
 - ①複式・単式を併用し、協働的な学びを実現する。
 - ②乗り入れ授業の充実を図り、児童の実態に応じた授業を実施する。
- (3) 宗谷複式教育研究連盟・他教育機関・団体との関係を図る。
 - ①教育局や教育委員会、利尻島教育研究会との連携を深める。
 - ②確実な研究推進と実りの多い成果を目指して他町村とのつながりを広める。

2. 令和5年度当初の活動計画

- (1) 授業研究
管内教育研究大会利尻島大会授業公開
校内授業研 校内研修
- (2) 小中一貫した取組の実践
- (3) ICTの活用
- (4) 管内教育研究大会授業公開
- (5) 利尻島複式部会との連携

3. 特色ある活動・取組

- (1) 授業研究
日々の授業においてアウトプットを重視し、実践の視覚化を図ることで、主体的・対話的で深い学びを追求した。そして、その検証の繰り返しと改善の積み重ねを進め、授業改革に取り組んだ。

(2) 小中一貫した取組の実践

児童会と生徒会を統合し、小中学生の取組を一本化し、児童生徒会活動や各行事・清掃活動等、ほぼ全ての活動を小中縦割りによる協働として取り組んだ。

乗り入れ授業や授業交流など、小中合同の研修を実施し、授業の活性化に取り組んだ。

(3) ICTの活用

一人1台端末を活用した学習の振り返りや定着、個別最適な学びの実践に努めた。

(4) 管内教育研究大会授業公開

島内全ての学校が授業公開し、町内唯一の複式校である利尻小で授業研究を実施した。

(5) 利尻島研究会複式部会との連携

教科の研修に偏り、複式校としての研修が不足しているのが課題であった。

4. 成果・課題・次年度の計画等

(1) 成果

町内唯一の複式校である利尻小が管内研で学校研究発表や授業公開を行い、少なからずその責任を果たすことができ、教職員にとって実践を深める良い機会となった。

校内研究や複式の授業づくりについて参加者から多くの示唆を頂き、研修を深めることができたことは大変良かった。複式の授業づくりについては学力保障とあわせ、主体的・対話的な深い学びの追求が課題であるため、日常の授業の実践的検証は重要なことであった。来年度もさらに、校内研究（研修）を推進していく。

小中一貫を進める本町においては、9年間の学びの繋がり的重要性を教職員で意思統一し、取組の充実をめざしている。児童生徒の共同・協働による自然な営みが心の成長や安心な学校生活に繋がっている。

(2) 課題

一昨年度から利尻島二町の町研が1つになり、利尻島教育研究会として始動して3年目となった。複式学校は本町1校、利尻町1校しかいないため連携は不可欠ではあるが、教科研究が重視され、複式研究が深められていないのが現状である。